



SERVICE INFO



ダイレクトリリースシリンダー 510 0177 10

注意事項および空気抜き

自動車メーカー：アウディ
 フォード
 セアト
 シュコダ
 VW

部品番号： 510 0177 10

最新の表については、部品カタログを参照してください。

中央リリース機構 510 0177 10 の交換後は、油圧システムから空気を抜く必要があります。その際、規定の手順に従う必要があります。怠った場合、ダイレクトリリースシリンダーが破損する可能性があります。

以下の手順でダイレクトリリースシリンダーから空気を抜くことを推奨します。

1. ブレーキ液タンクにブレーキ液を「max」まで注入します。
2. クラッチペダルを上部ストップにセットします。
3. 注液および空気抜き装置を取り付けます。
4. 中央リリース機構の接続部のブリーダから保護カバーを取り外し、空気抜きボトルのチューブをブリーダに差し込みます。
5. 空気抜き装置をオンにし、作動圧力を 2.0bar に設定します。



規定の手順に従って、ダイレクトリリースシリンダー 510 0177 10 から空気を抜く必要があります。

6. ブリーダを 4 分の 1 回転して緩め、100cm³ のブレーキ液を排出します。
7. ブリーダを開いた状態で、クラッチペダルを手ですばやく（毎秒 2 回ほど）15～20 回作動させます。その際、クラッチペダルが必ず下部および上部ストップに達する必要があります。この手順に従わない場合、ダイレクトリリースシリンダーが破裂する可能性があります。
8. ブリーダを閉めます。
9. 空気抜き装置をオフにし、装置から作動圧力を解放します。
10. リリース機構が正しく動作することを確認しながら、クラッチペダルをゆっくりと 10 回作動させます。

自動車メーカーの仕様を順守してください！